

岩手県感染症週報

平成28年第2週(1月11日～1月17日)

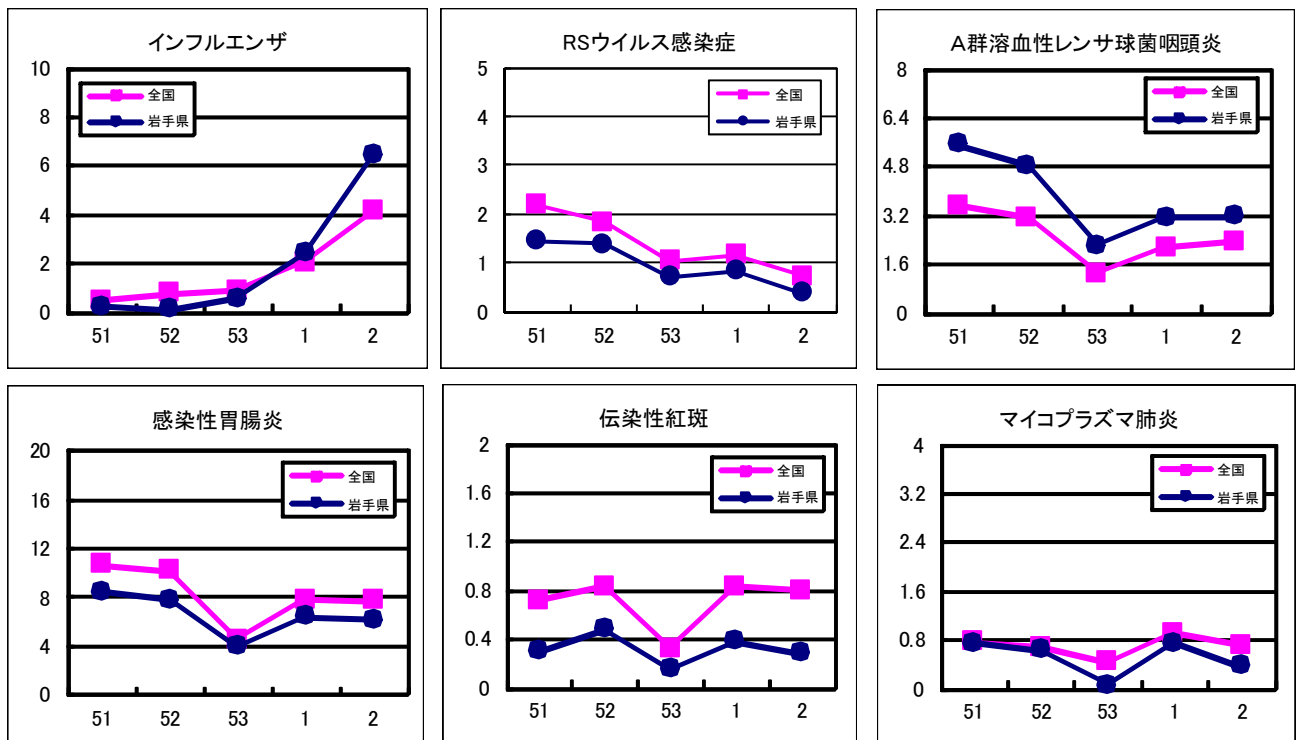
岩手県感染症情報センター

第2週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の報告が1例ありました。潜在性結核感染症の報告はありません。
- 3 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 4 類感染症 ・レジオネラ症の患者の届出が、県央地区から1例ありました。患者は30歳代の男性です。本疾患の主症状は肺炎ですが、症状のみでは他の肺炎と区別することが難しいので、注意が必要です。
- 5 類感染症 (全数把握対象疾患)
 - ・アメーバ赤痢の患者の届出が、盛岡市から1例ありました。
- 5 類感染症 (定点把握対象疾患)
 - ・インフルエンザは、定点あたり患者数が、6.43人と前週2.30人より増加しました。今シーズンは、例年より20歳以上の患者が多くなっています。今後は新学期の開始とともに20歳未満の患者の増加が予想されます。県環境保健研究センターでは、1月に患者から採取された検体からインフルエンザウイルスA (H1N1)2009を検出しました。手洗いによる予防と、咳エチケットによる周りへの感染防止に努めましょう。65歳以上の方は、重症化を防ぐため、予防接種法に基づく定期的インフルエンザ予防接種の対象となっていますので、主治医に相談のうえ、早めに接種を済ませましょう。
 - ・感染性胃腸炎は、1月に入ってこれまでに、保育園や福祉施設においてノロウイルスによる集団感染事例が4件発生しており、今後も注意が必要です。予防には、石けんと流水による手洗いと吐物やふん便の適切な処理が重要です。[「ノロウイルス感染を予防しましょう！」](#)

最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

※2013年第42週より感染性胃腸炎 (ロタウイルス) が定点把握対象疾病となりました。

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		51	52	53	1	2		
インフルエンザ	岩手県	0.23	0.12	0.55	2.4	6.43	↗	☆
	全国	0.46	0.76	0.89	2.02	4.11		
RSウイルス感染症	岩手県	1.45	1.38	0.7	0.83	0.38	↘	☆
	全国	2.19	1.83	1.03	1.16	0.73		
咽頭結膜熱	岩手県	0.23	0.3	0.15	0.1	0.18	→	☆
	全国	0.69	0.65	0.33	0.54	0.36		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	5.53	4.83	2.2	3.13	3.18	→	☆☆
	全国	3.54	3.12	1.29	2.16	2.35		
感染性胃腸炎	岩手県	8.43	7.8	3.88	6.38	6.13	→	☆
	全国	10.67	10.11	4.49	7.74	7.71		
水痘	岩手県	0.78	0.68	0.45	0.35	0.15	→	☆
	全国	0.87	0.78	0.47	0.87	0.47		
手足口病	岩手県	0.2	0.2	0.03	0.05	0	→	
	全国	0.13	0.11	0.04	0.05	0.04		
伝染性紅斑	岩手県	0.3	0.48	0.15	0.38	0.28	→	☆
	全国	0.72	0.83	0.32	0.83	0.8		
突発性発疹	岩手県	0.43	0.4	0.15	0.45	0.45	→	☆
	全国	0.43	0.39	0.21	0.39	0.45		
百日咳	岩手県	0	0	0	0.03	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	0	0.03	0	0.05	0	→	
	全国	0.04	0.03	0.01	0.01	0.02		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.5	0.6	0.33	0.73	0.53	→	☆
	全国	0.94	0.88	0.56	1.2	0.88		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
流行性角結膜炎	岩手県	0.29	0.36	0.64	0.93	0.21	→	☆
	全国	0.85	0.87	0.39	1.01	0.73		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0.05	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.04	0.03	0.02	0.03	0.03		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.74	0.63	0.05	0.74	0.37	→	☆
	全国	0.77	0.68	0.43	0.91	0.72		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.03	0.01	0.02	0.03		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	岩手県	0.05	0.05	0	0	0.05	→	
	全国	0.09	0.1	0.09	0.12	0.18		
インフルエンザ (入院患者) ※報告数であることに注意	岩手県	5	1	0	6	16		
	全国	25	41	54	169	282		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※中東呼吸器症候群 (MERS) 及び鳥インフルエンザ (H7N9) が2015年1月21日より二類感染症に追加されました。

(患者発生数)

	疾病名	岩手県					累計	全国	
		(週) 51	52	53	1	2		2	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 () 内は潜在性結核感染症患者再掲	7 (4)	6 (1)	1 (0)	3 (1)	1 (0)	4 (1)	257	627
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	中東呼吸器症候群 (MERS)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	5	7
	腸管出血性大腸菌感染症	1	2	0	1	0	1	13	26
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	3	3
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	2
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	4	16
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	2	6
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	0
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	キャサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	10	19
	デング熱	0	0	0	0	0	0	7	17
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
マラリア	0	0	0	0	0	0	0	0	
野兎病	0	0	0	0	0	0	0	0	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	0	0	1	1	20	40	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

※カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症、水痘 (入院例)、播種性クリプトコックス症、薬剤耐性アシネトバクター感染症が2014年第38週より報告されることになりました。

分類	疾病名	岩手県						全国	
		51	52	53	1	2	累計	2	累計
五類 感 染 症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	1	1	12	31
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	0	0	4
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	0	0	0	0	0	14	46
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	0	4	14
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	1	5
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	1	1	2	6	17
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	20	48
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	1	0	1	5	15
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	3
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	0	47	139
	水痘 (入院例)	0	0	1	0	0	0	2	13
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	0	53	108
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	0	0	4
	破傷風	0	0	0	0	0	0	3	3
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	2
	風しん	0	0	0	0	0	0	1	2
	麻しん	0	0	0	0	0	0	1	1
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	

今注目の感染症

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

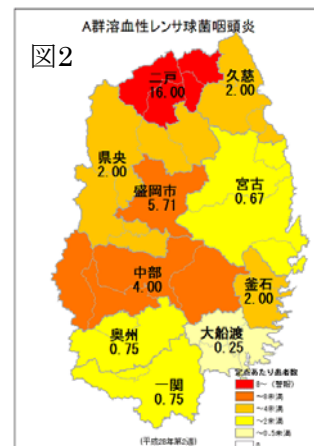
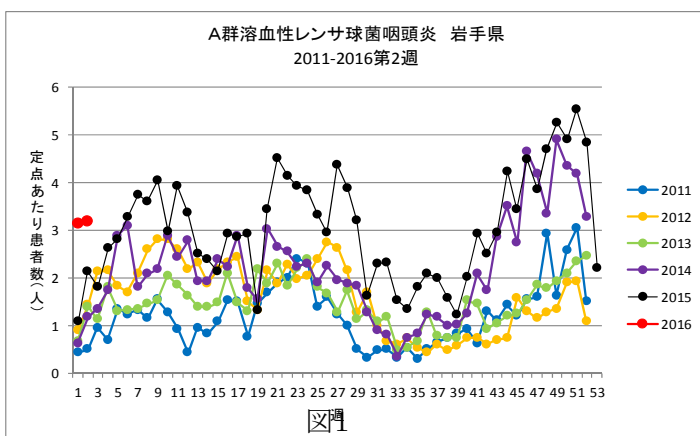
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、A群溶血性レンサ球菌による急性咽頭炎です。潜伏期間は2～5日で、突然の発熱、咽頭炎、全身倦怠感によって発症し、体幹に発疹を伴うことがあります。感染後、急性腎炎を併発することがあるので、7～10日間の抗菌剤内服が重要です。予後良好な疾患ですが、菌が産生する毒素に免疫がない場合には猩紅熱に発展する場合があります。

予防には、患者との濃厚接触を避けること、うがいや手洗いなどの励行、マスクを用いた咳エチケットが重要です。

岩手県での発生状況ですが、2014年の第41週から、他の年に比較して多い状況が続いています(図1)。2015年の第51週には、県全体の定点あたり患者数5.53人と調査を開始した平成11年以降で最大の報告数となりました。第52、53週は減少しましたが、第1週は増加に転じ、第2週も例年より多い報告がありました。今後とも注意が必要です。

参考 国立感染症研究所 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/340-group-a-streptococcus-intro.html>



今注目の感染症 (つづき)

感染性胃腸炎

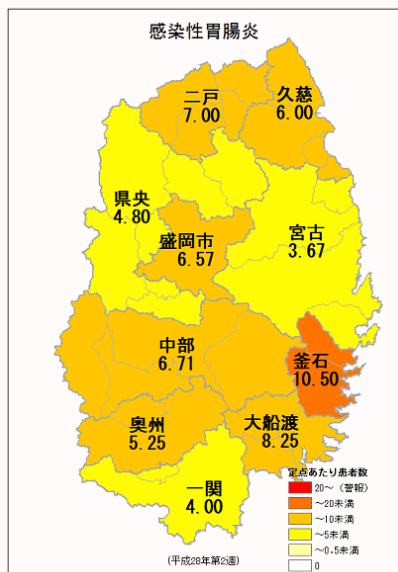
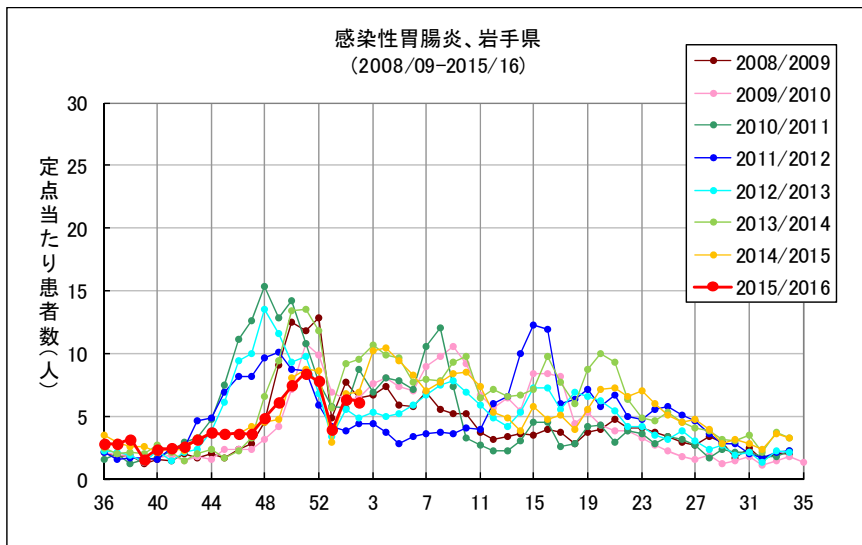
感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。毎年秋から冬にかけて流行し、その原因はノロウイルスやロタウイルス等のウイルスが大部分を占めています。近年では、流行の前半はノロウイルスが、後半はロタウイルスが患者から多く検出されています。

感染性胃腸炎の報告数は、例年、11月頃から増加し、12月にピークを迎えますが、2015年は報告数の少ない状況で推移しています。しかし、県内では保育園や福祉施設においてノロウイルスなどによる集団感染事例が報告されています。

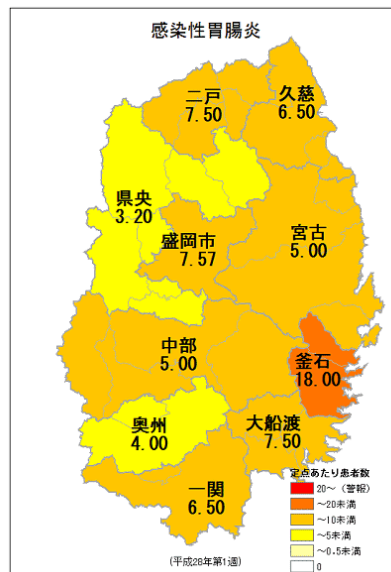
感染性胃腸炎の原因となるウイルスの感染経路は、主に経口感染です。感染力が非常に強いので、保育園など集団で生活する場では、注意が必要です。また、今後流行する可能性のあるノロウイルスGⅡ17変異株 (いわゆる「新型ノロウイルス」) が岩手県でも検出されています。その予防には、これまでどおり、調理前、食事前、用便後に石けんを用いた十分な手洗い、食品の十分な加熱、ふん便や吐物の塩素系消毒剤による適切な処理が重要です。

参考 厚生労働省ノロウイルスに関するQ&A

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html



第2週



第1週

病原体検出情報

- ・インフルエンザの患者の咽頭ぬぐい液から、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009を、それぞれ4件検出しました。
- ・肺炎の患者の吸引痰から、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009を、1件検出しました。

集団感染情報

○感染性胃腸炎の集団発生について

平泉町内の障害者支援施設 (入所者47名、職員32名)

- ・1月7日(木)から1月14日(木)にかけて、11名(入所者11名)に症状(嘔吐、下痢等)
- ・有症者6名からノロウイルスを確認

盛岡市内の児童福祉施設 (入所者63名、職員42名)

- ・1月6日(水)から1月15日(金)にかけて、26名(入所者21名、職員5名)に症状(嘔吐、下痢、発熱、腹痛等)
- ・有症者3名中3名(入所者1名、職員2名)からノロウイルスを確認

○インフルエンザによる学校等の休業措置について (1月15日～1月19日発表分)

- ・岩手県 5件
- ・盛岡市 0件

詳細は、岩手県医療政策室のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.iwate.jp/iryou/kenkou/Influ/index.html>

医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

Q & A

読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。

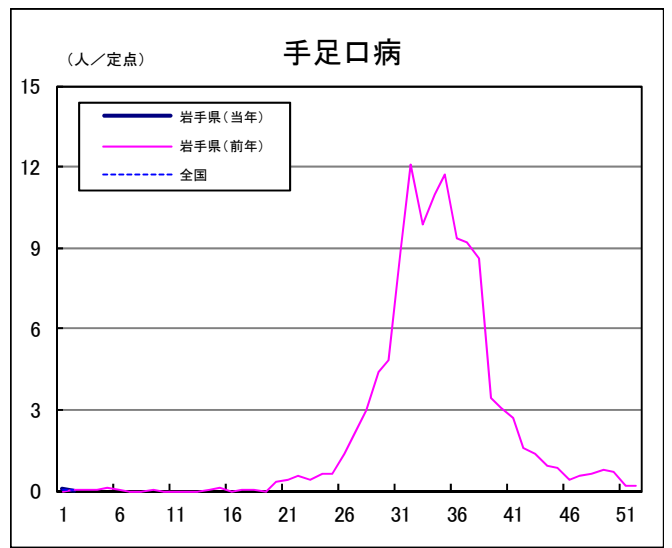
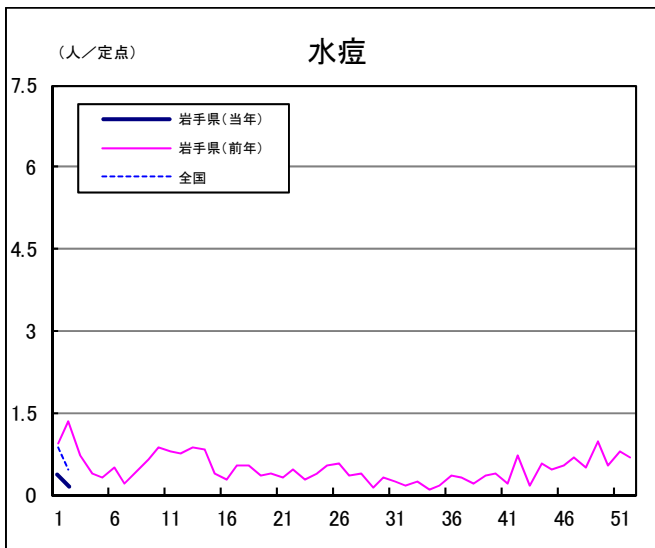
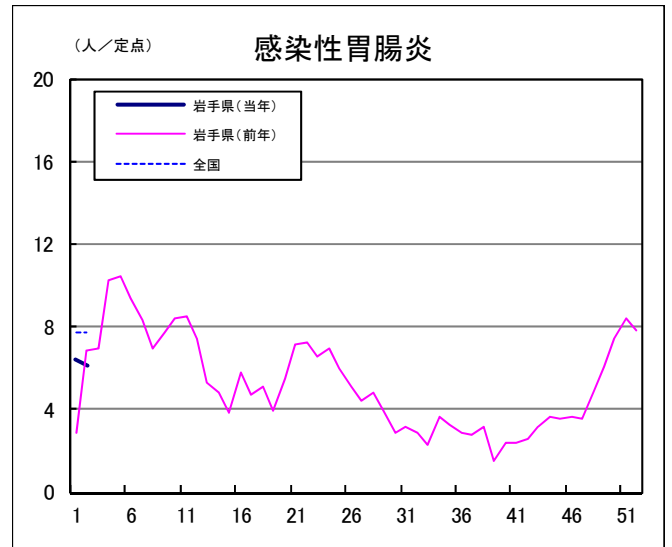
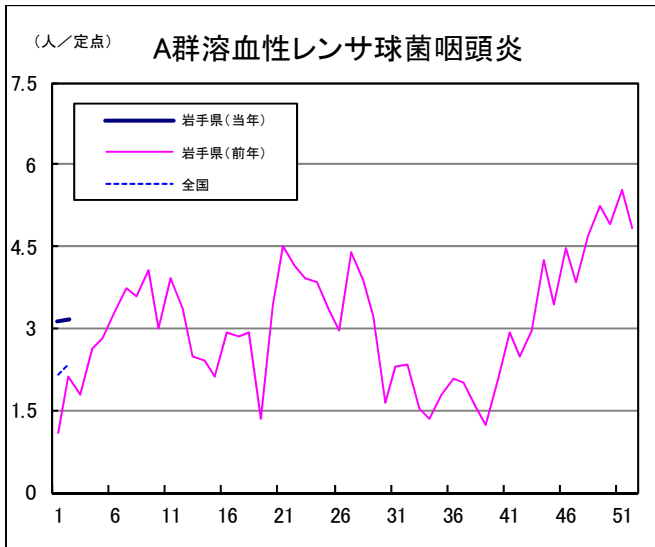
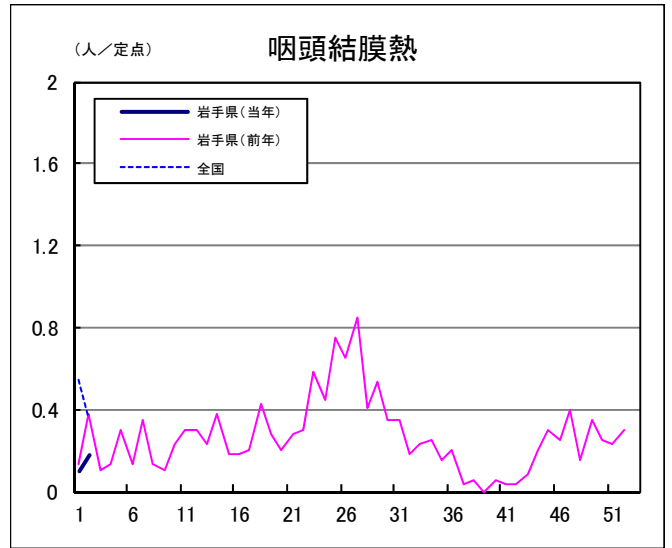
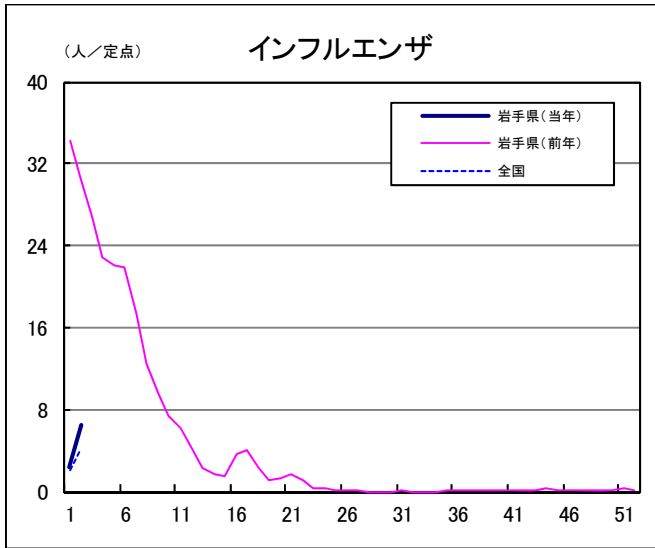
岩手県感染症情報センター (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

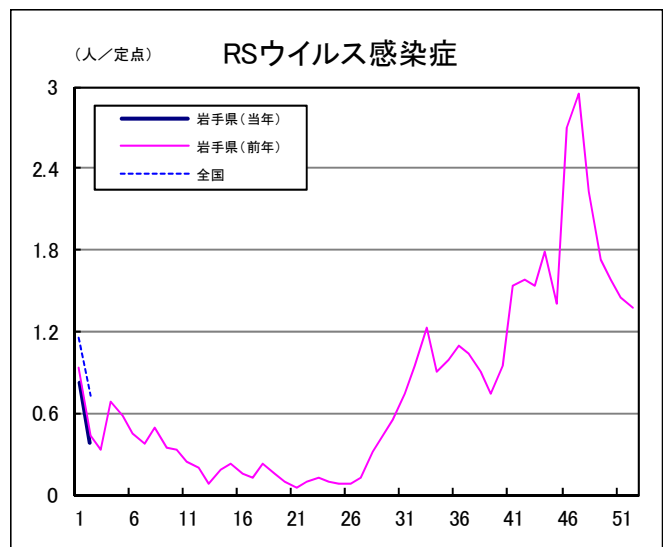
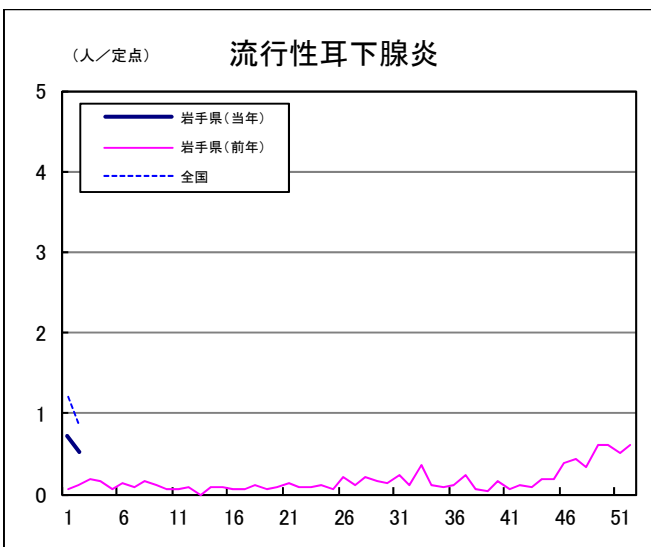
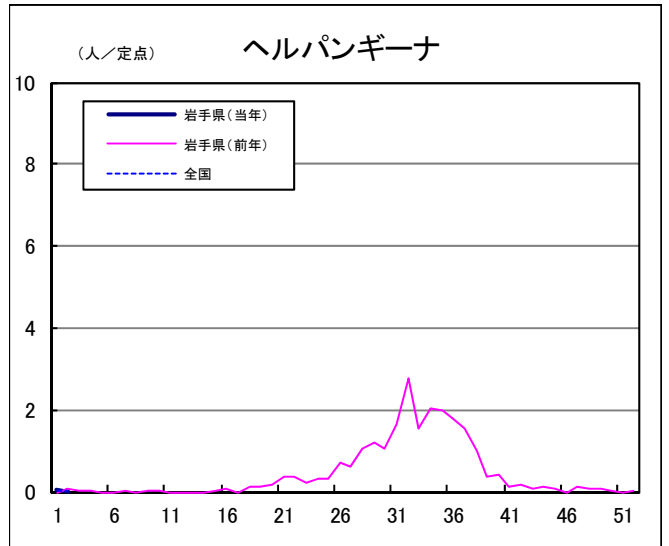
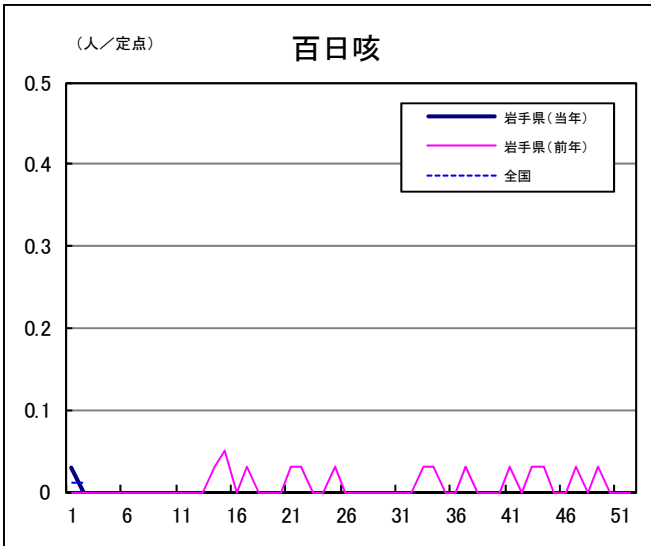
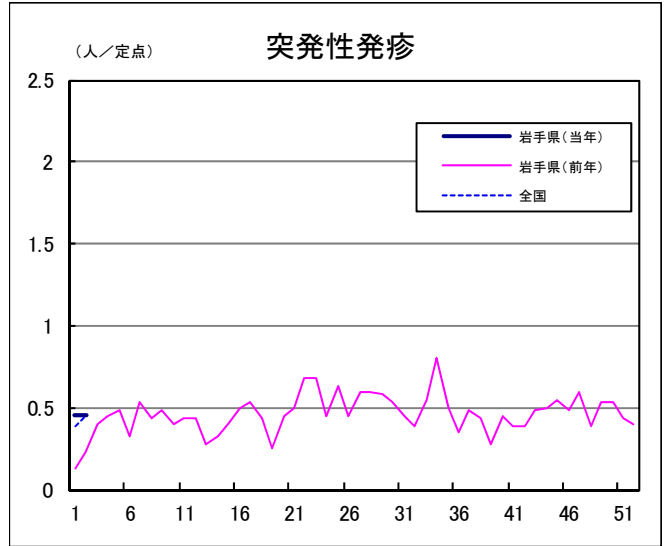
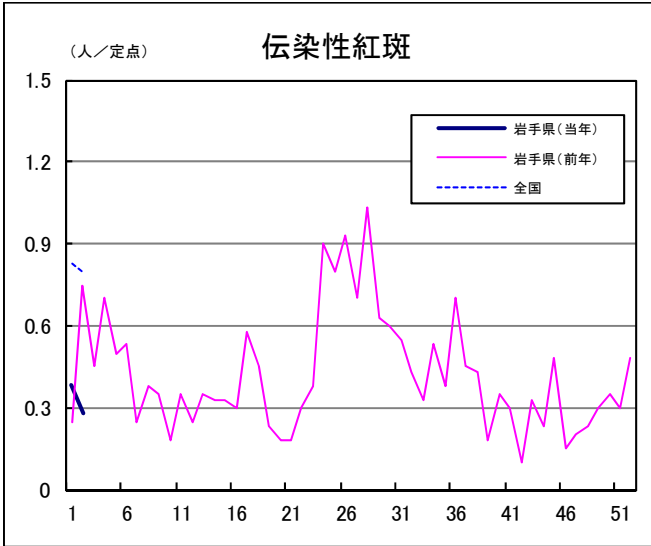
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

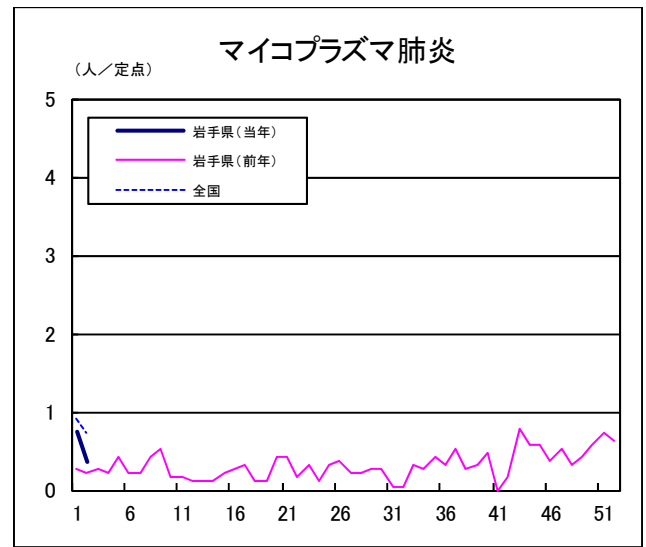
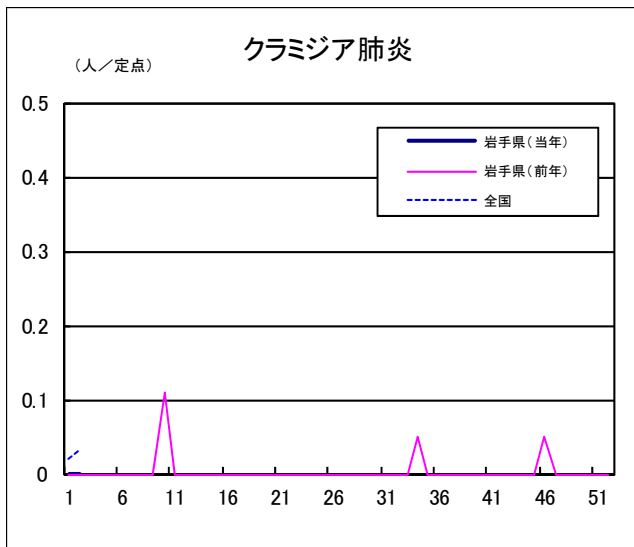
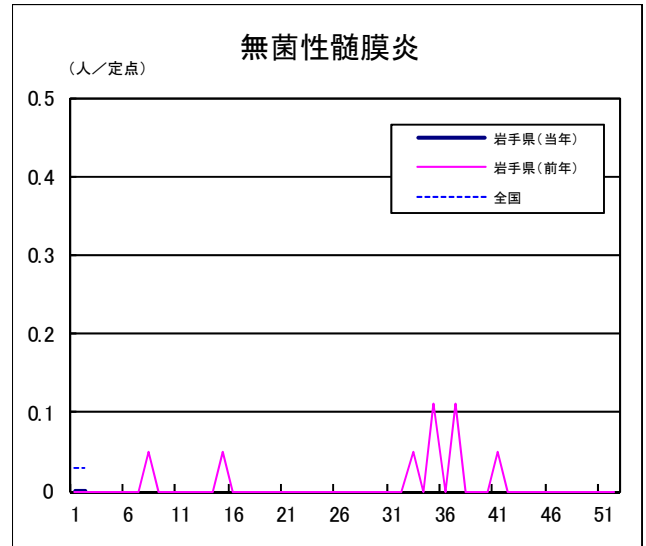
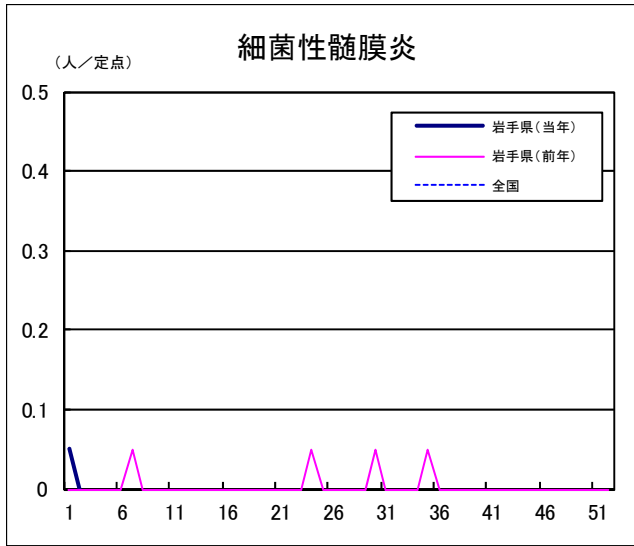
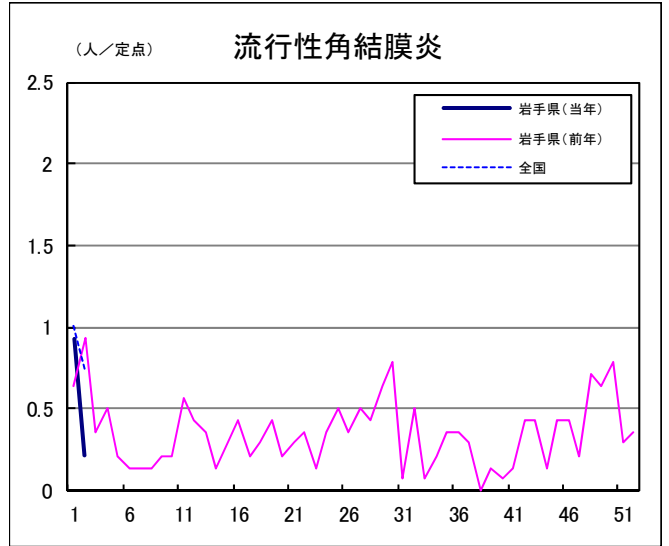
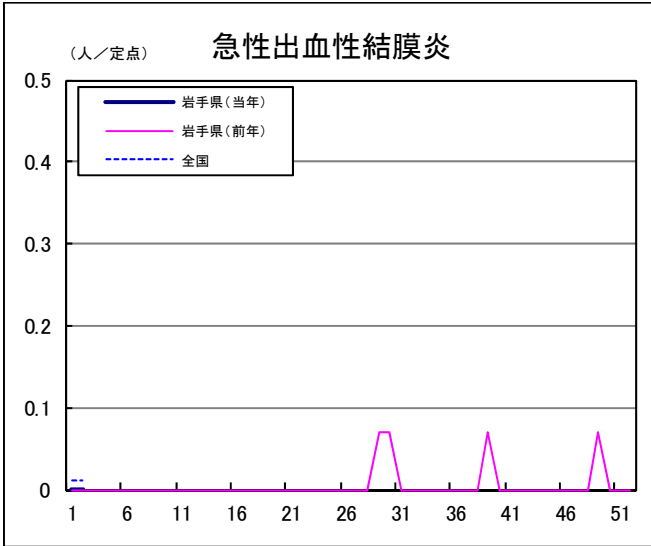
TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)

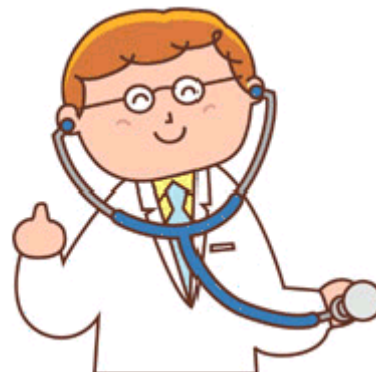






定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	65	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	8	5	2	0
中部	12	7	2	4
奥州	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成28年第2週 平成28年1月22日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/iryuu/kenkou/index.html>

<岩手県保健福祉部医療政策室>